

テーマ「校内の授業研究を有意義にするための事前・事後研修会のもち方」



1 はじめに

- ・この研修の目的は、MK法を用いた研修会に参加された先生方にできるようになってもらうこと
- ・事前研修会で何が問題ですか？
- ・事後研修会で何が問題ですか？



2 なぜ研修は大切なのか

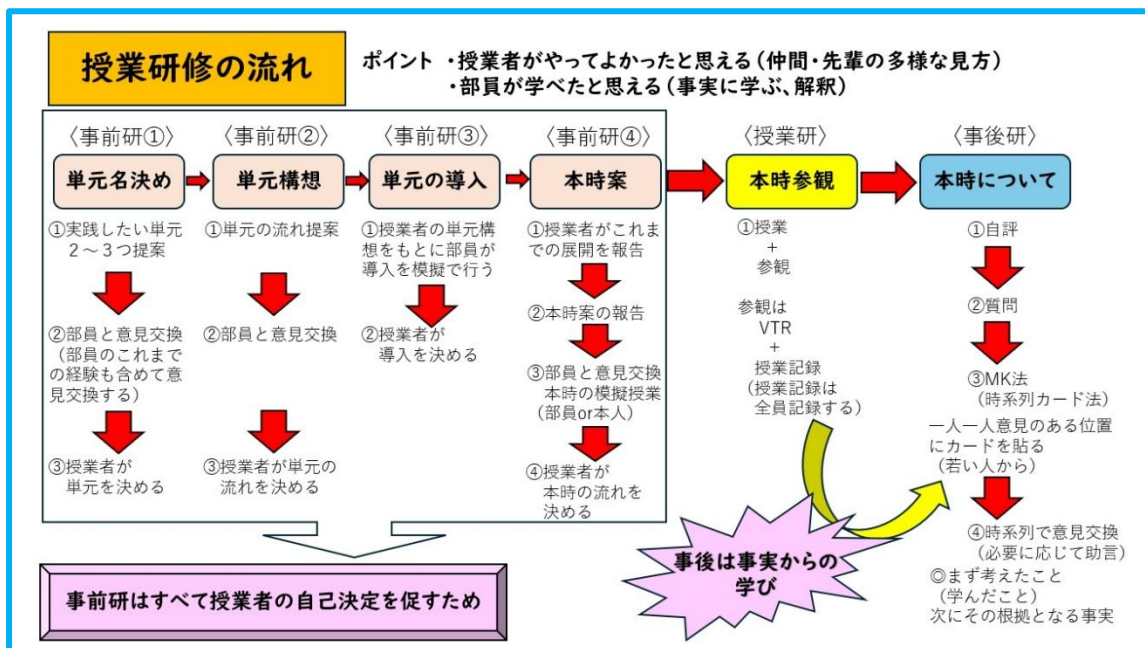
- ・よい授業を提供しないと子供が喜ばない。子供は、先生を選べない。
- ・教科の組み立ては、目標と内容と方法がある。目標と内容は学習指導要領で決められているが、方法は教師の裁量である。子供は自分でやったと思えるときに力が付く。いかに子供にそう思わせるかが大切である。
- ・教員は、教育公務員特例法により研修が認められている。

3 校内研修と小・中教研の目的のちがい

- ・校内研修は、事実（子供の姿）に基づいている。
- ・授業者がやってよかったと思えることが大切である。



4 授業研修の流れ ※下図はプレゼン資料



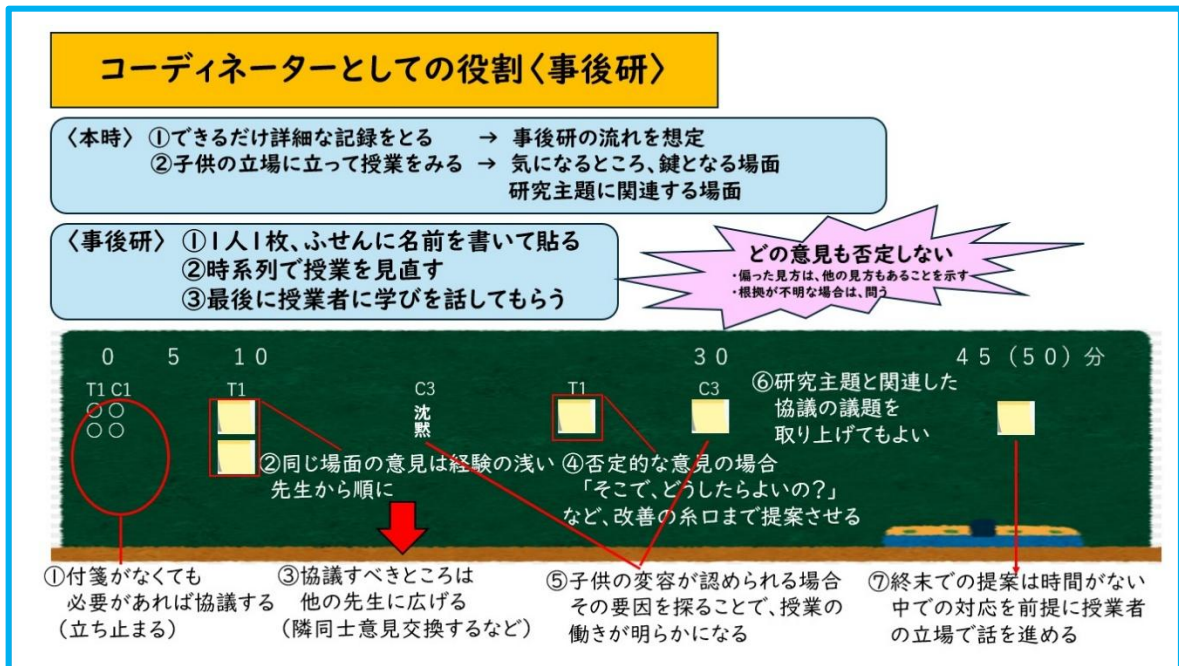
- ・ 事前研修会でのポイント
  - ☆部員は多様な意見を出す。模擬授業を見せることも有効
  - ☆最終判断は授業者（任せる）
  - ☆授業者が納得して「これで行く」と決めることが大切

- ・ 授業研修会でのポイント

- ☆子供の立場に立って事実（先生と子供のやり取り）を詳細に記録する。
- ☆コーディネーターは事後研修会で鍵となる子供の姿（教師が発問しなくても子供たちがざわざわし始める、つぶやき、表情の変化等）を赤色等でチェックしておく。 ※下図の〈本時〉参照
- ☆子供が自分から手を挙げて話したのか、指名されて話したのか分かるように記録する。

5 事後研修会～MK法（時系列カード法）～ ※下図はプレゼン資料

- ・ 事後研で、参加者の事実に基づいた意見を聴くことは、授業者も参加者も自分の学びを広げることにつながる。



- ・ 事後研のポイント

☆ふせんには、事実と、自分がどう感じたかを記入する。貼るときや発言するときは若手から行う。

☆事後研を深めるために、上図の①～⑦をコーディネーターは意識する。

- ・ ①について、鍵となる場面だと思えば切り出してもよい。
- ・ ③について、授業のメインの場面ならば、他の先生にも意見を聞く。
- ・ ④について、否定的な意見が出たときは、「どうしたらよいと思いますか」と問い返す。
- ・ ⑤子供の意見が変わったところは要因を探るよい場面である。授業中に授業者が気づき子供に問いかけることができればもっとよい。

## 6 朝の会の取組から

- 朝の会で実施しているスピーチは、相手が何を分かってほしいのかという視点できくという力がこれから生きる子供たちにとって大切だからである。

※下表はホワイトボードに板書された内容

		話し手の立ち位置	
何を分かってほしいか きくか	きく内容	自分の考え	話し手のふところ
		内容	共通問題のある授業
		話し手 何をわかってほしいか	朝のスピーチ

- 朝のスピーチによって、学級の仲間や先生に受け止めてもらうことで、自分に自信をもち「これでいいんだ」と自己決定して生きていくことにつながる。
- 相手の気持ちを考えてきくことで思いやりの心が育ち、多様な仲間をお互いに認め合える子供を育てることができている。

### 研修を振り返って

- 参加者の先生方は熱心に研修に参加しておられました。ペアで話をされるときも笑顔で会話する姿が見られました。
- 研修が進むにつれて質問が多く出るようになりました。参加者の方々の感想からも各学校で実践してみたいという意見が多くありました。
- 「教師同士が子供の姿（事実）を基に、対話を通して学び合ってほしい」という講師の先生の願いが伝わってきました。

